

長峯市政から池田市政へバトンタッチ

池田新市長が初登庁

11月22日、池田宜永新市長が初登庁し、市役所ロビーで市民や市役所職員らが拍手で出迎えました。第3代都城市長に就任した池田市長。歓迎の花束を手にした池田市長は「新しい都城づくりに、まっすぐに進んでいきたい」と市民らに抱負を述べました。その後、市長室での事務引継式に臨み、長峯前市長から渡された引継書に署名して、市政運営の第1歩を踏み出しました。都城で生まれ育った池田市長は、現在41歳。元財務省職員で平成19年4月から22年6月まで、市の副市長を務めました。



まちを彩る温かな明かり

プラザイルミネーション点灯式

まちなかを温かな光で彩るプラザイルミネーションの点灯式が11月23日、ウエルネス交流プラザで行われました。会場に集まった観客全員のカウントダウンに合わせて、10万球の明かりが一斉に点灯。会場では、子どもたちによる合唱やハンドベルのコンサートも行われ、澄んだ音色が響き渡る中、訪れた人たちは一足早いクリスマス気分を楽しみました。櫻田麻季恵さん（今町）は「子どもたちと点灯する瞬間を楽しみに来ました」と色とりどりのイルミネーションを眺めていました。



レンタサイクルでまちなか探検

まちなかレンタサイクルオープニングセレモニー

11月23日、JR都城駅でまちなかレンタサイクルのオープニングセレモニーが行われました。式典で観光協会の堀之内会長が「観光客だけでなく市民にも利用してほしい、まちなかのよさを感じてほしい」とあいさつ。隠れた観光スポットを楽しんでほしいと呼び掛けました。続いて、関係者らがテープカットを行い、運行の安全とまちなかの活性化を祈願。観光レディーらが初乗車してオープンを祝いました。貸し自転車はJR都城駅や都城島津邸など、市内5カ所で無料貸し出しされます。



甘いがね うまいがね

がねコンテストinせきのお

郷土料理「がね」の味を競うがねコンテストが11月25日、滝の駅せきのおで行われました。火山の産物「シラス」土壌で育つサツマイモのがねを使って、霧島ジオパークの認知度向上につなげようと開催。会場には味比べを楽しみに1,500人が訪れ、サツマイモのがねを生かしたがねや、カレー粉や塩麴を使い工夫を凝らしたがねなどに舌鼓を打っていました。中原敦子さん（祝吉二丁目）は「甘くておいしいのはもちろん、それぞれに個性があって楽しい」と味を確かめていました。



地域みんなで引き継ぐ伝統行事
桜木揚げ馬祭り

桜木揚げ馬祭りが11月25日、高城町桜木の南方神社周辺で開催されました。本来、4年に1度開催していましたが、口蹄疫や新燃岳噴火の影響で7年ぶりに開催。文禄・慶長の役に加わった都城島津家の出陣の様子を再現した大名行列が、桜木地区を練り歩きました。殿様の名代役の稚児やよらい武者などにふんした住民らが繰り広げる歴史絵巻に、見物客らは歓声を上げていました。稚児役の澤田優希くん（7歳）は「たくさんの人たちに見てもらえてうれしかった」と笑顔で話していました。



郷土愛を育むふれあいの場
生きがいふれあいフェスタ山之口

生きがいふれあいフェスタ山之口が12月2日、山之口勤労福祉センターを中心に開催されました。会場では、地域住民が生涯学習教室で制作したちぎり絵や手芸などの作品展示のほか、郷土芸能やコーラスなどが披露され、来場者らを楽しませていました。また、人形浄瑠璃を公演した麓小学校の児童らが、郷土の歴史や人形浄瑠璃を学ぶ意味を詩にしたオリジナルの曲を合唱。作詞作曲した大森福一校長は「いつまでもふるさと山之口を大切にする人に成長してほしい」と思いを話していました。



年越し準備にそば打ち修行
新そば打ち体験教室

この秋に庄内地区で収穫されたソバを使ったそば打ち体験教室とそば粉の販売などが12月9日、関之尾緑の村で開催されました。遠くは鹿兒島市内からも含めて、68人がそば打ちを体験。講師からそばの打ち方の説明を受けた後、慣れない手つきでそば粉をこねたり、麺棒で薄く延ばしたりして、そば打ちを楽しんでいました。家族と参加した山内友美さん（鷹尾三丁目）は「そば打ちは初めての経験。今日学んだことを生かして、年越しそばにもチャレンジします」と意気込みを見せていました。



最高峰のプレーに大歓声
天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会

地方で初めての開催となる天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会が12月14日から24日まで、早水公園体育文化センターで開催されました。V・プレミアリーグと各地区予選を突破した高校や大学、社会人の男女各24チームが出場。国内トップクラスの選手たちのプレーは、多くのファンを魅了しました。惜しくも敗退した福岡大学の吉原味里都さん（4年）は「家族や友人の声援で頑張れたので悔いはない。今後は、地元都城で後進育成に励みたい」と新たな夢を膨らませていました。



JVA承認2012-12-017



「地縁による団体功労者
総務大臣表彰」を受賞した

立山 静夫 さん



自 地会や町内会の代表者として地域の共同活動に取り組む、良好な地域社会の形成に顕著な功績のあった人に贈られる「地縁による団体功労者総務大臣表彰」。今回、年見自治公民館長を28年間の長きにわたり務めた立山静夫さん（89歳）に、同表彰が贈られました。

市内の自治公民館長として、初めて受賞。その荣誉に「公民館活動は継続することが大切。気付けば長い間、自治公民館長を務めていたのですね。家族や地域の人たちの支えがあってできたことです」と受賞の喜びを振り返ります。

「人と触れ合うことが生きがいです。仕事をしているところは、限られた人との付き合いでしたが、今ではもっと幅広い付き合いで、自筆の年賀状を300枚ほど書きますよ」と人とのつながりを大切にしていく立山さん。

自治公民館長を引退した今でも高齢者の一人暮らしの見守り活動を続けていて、会えない時には電話や手紙のやりとりでその無事を確認しています。「自治公民館活動には終わりはありません。これからも体の続く限り、人とのつながりを大切に活動していきたいです」と話していました。

立山さんは、郵便局を定年退職してふるさとの都城に戻ると、3年後には年見自治公民館長を引き受けました。その後、昨年の3月に自治公民館長の役職を譲るまで、防災訓練の実施や環境ボランティア活動、高齢者を囲むでの食事会の開催など、地域を挙げての活動に取り組みました。

特に、リサイクル活動には早くから取り組み、遠くは北海道からも先進的な活動を学ぼうと視察に来るほどで、こうした活動が認められ平成15年には、厚生労働大臣から環境ボランティア表彰を受けました。

環霧島探訪

今月は、環霧島周遊列車を紹介いたします。

— かんきりしましたんぼう —

Vol.9

◎問い合わせ 霧島市観光課 ☎0995516410895

霧島山の魅力を堪能してもらおうと、環霧島会議がJR九州支店と協力して実現した一般募集のツアー「環（ぐるっと）霧島周遊列車」。日豊本線、吉都線、肥薩線を乗り換えなしで結ぶ総延長144^キ、約6時間の列車の旅です。今年度は4回の運行を企画し、毎回人気を集めています。

12月9日、財部駅を発着駅とした第3回のツアーには88人が参加。停車駅では地域の皆さんによる特産品の振る舞いや即売会、車内では特製の駅弁や観光案内、ビンゴゲームなどを楽しみました。

霧島市の停車駅は2カ所。隼人駅では、霧島茶をPRしようと国分中央高校の生徒が、地元のと菓子屋と共同開発した霧島ジオパークPR商品「霧島ちゃろーる」と霧島茶で、もて



なしました。リーダーの修行翔さんは「人と話すことが好きで参加しました。『ちゃろーる』を食べべて霧島のファンになってもらいたいです」とうれしそうに話していました。

霧島温泉駅では霧島高校の生徒が関平鉱泉水でお出迎え。構内では霧島温泉駅地域振興会の皆さんが焼きシイタケや手作りの抹茶おはぎなどでもてなしました。同校3年の向井田登夢さんは「お客さまの笑顔が私を元気にしてくれました。この旅で霧島の魅力を肌で感じ、また霧島に来てもらいたいです」と話してくれました。

霧島山の大自然とともに「おもてなしの心」がたっぷり詰まった列車の旅。1本のレールでつながった、おもてなし駅は、環霧島会議の新たな魅力として注目を集めています。

※環霧島圏域のイベント情報を、市ホームページで紹介しています



盆地生まれの
元気をいただきます

ネギと魚をおいしく食べる料理

魚のネギ焼き煮

※1人分129キロカロリー、塩分1.2g

●材料(4人分)

白ネギ…100g 魚(1切れ60g)…4切れ 酒…大さじ1
片栗粉…大さじ1 油…大さじ1 カイワレ大根…10g
[A]— だし汁…100cc 砂糖…大さじ1 みりん…大さじ1
濃い口しょうゆ…大さじ1 薄口しょうゆ…小さじ1
ショウガ(すりおろし)…小さじ1

●下準備 魚…酒をふり、しばらくおく
白ネギ…斜めに薄切りにする

●作り方 ①ペーパーで魚の水気を拭きとり、片栗粉をまぶす。
フライパンに油を熱し、魚を焼いて皿にとる
②同じフライパンに[A]を煮立たせ、ネギと①を加え汁を残すくらいに煮る
③皿に魚とネギを盛り、カイワレ大根を散らす



ネ

ギは独特の匂いと辛味のある野菜。疲労回復や食欲増進、発汗作用などの効果から、薬効成分が含まれる植物として知られ、風邪に効く薬として用いられてきました。

ワン! ポイント

保存するとき、白ネギは新聞紙に包んで冷暗所へ。葉ネギは、湿らせた新聞紙に包んで冷蔵庫で保存してください。

◎問い合わせ
健康課 ☎2312765